

## ■委員長報告概要■

		平成 30 年 12 月定例会
		一般会計予算決算常任委員会
議 案 件 名	議案第90号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算(第5回)について	
概 要	今回の補正は、公立保育所及び幼稚園、小中学校に空調設備を整備する補正であり、歳入歳出とも 7 億 7,237 万 4,000 円を増額し、予算総額を 306 億 2,871 万 1,000 円とするもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p><b>【歳入】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 繰入金           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財政調整基金繰入金 2 億 1,727 万 4,000 円を増額 財政調整基金の残高 31 億 1,879 万 2,000 円</li> </ul> </li> <li>○ 市債           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生債 1,290 万円の増額</li> <li>・ 教育債 5 億 4,220 万円の増額</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【歳出】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 民生費           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育所工事請負費 1,620 万円 厚陽保育園 1 室、出合保育園 2 室、日の出保育園 3 室、合計 6 室</li> <li>・ 熱源は電気で、保育園 6 室を一括発注する考え</li> </ul> </li> <li>○ 教育費           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校工事請負費 5 億 479 万 2,000 円 普通教室 125 室、特別支援教室 31 室、図書室その他 14 教室、 合計 170 室</li> <li>・ 中学校工事請負費 2 億 3,749 万 2,000 円 普通教室 55 教室、特別支援教室 13 室、音楽室と図書室 11 室、 合計 79 室</li> <li>・ 幼稚園工事請負費 1,350 万円 保育室 3 室、事務室 1 室、給食室 1 室、合計 5 室</li> <li>・ 熱源について、全て電気で進めていたが、山口県 L P ガス協会から 要望書の提出があり、夏までに間に合うことが確認できたら、今後 協議し、検討</li> <li>・ 国の補助について、詳細な通知はないが、国の臨時交付金の対象と なる事業費の枠が約 3 億 9,000 万円、そのうち交付金は 1/3 の約</li> </ul> </li> </ul>	

	<p>1億3,000万円、残り約2億6,000万円の市債については元利償還金の60%が地方交付税算入される見込み</p> <p>(委員会での質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「熱源が電気の場合、一括で一社に発注しようとしているのか」との問いに「予定として、そういった説明があった」との答弁</li> <li>・「ガスと電気のランニングコストの比較表は出されたのか」との問いに「夏までの完成を最優先に考え、現時点では比較できていないので、分科会には示されていない」との答弁</li> <li>・「ガスを使用した場合、期限までに間に合うのか」との問いに「請願審査の中で請願人の意見として、間に合うということであった」との答弁</li> </ul>
<p>討 論</p>	<p>賛成討論あり</p>
<p>結 果</p>	<p>全員賛成で可決</p>

## ■ 委員長報告概要 ■

		平成 30 年 12 月定例会
		総務文教常任委員会
議 案 件 名	請願第 4 号 市立小中学校の空調設備に使用されるエネルギー（燃料）について	
概 要	請願者はLPガス協会厚狭支部長で、請願の内容は「市立小中学校空調設備のエネルギーについて、単一エネルギーに集中することなく、電力、液化天然ガス、液化石油ガスを災害対策、市内業者育成等の側面から、分散して導入して欲しい」というもの	
論点又は質疑 によって明らか になった事項	<p>*10 教室を標準に試算すると、イニシャルコストはガスの場合は約 2,270 万円、電気の場合は 1,340 万円で、年間のランニングコストではガスは約 19 万円で、電気は約 102 万円である。</p> <p>*イニシャルコストはガスの方が割高で年 1 回の定期点検が必要となるが、ランニングコストの差で 6 年から 7 年で逆転をするという試算がある。</p> <p>*災害時など停電した場合でも運転は可能である。</p> <p>*ガスヒートポンプエアコンのメーカーが来年度の生産台数を計画的に立てているので、納期についても問題ない。</p> <p>*5 月・6 月の土曜・日曜を活用して工事を行うので、7 月 1 日からの使用には十分間に合う。</p> <p>*教育委員会に同様の要望書を提出して、電気との比較検討を求めている。</p> <p>《自由討議》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来年の 7 月に間に合わせることが最優先で、それが可能ならリスク分散の観点から、請願を採択すべきである。</li> <li>・6 月末までに完成することは可能であるとの請願者の発言があり、イニシャルコストとランニングコストを勘案して、ガスの優位性が認められるので、採択すべきである。</li> <li>・執行部より「7 月までに完成できることが確認できれば、ガスの使用も検討する」との発言があったので、今後の対応に期待して、採択すべきである。</li> </ul>	
討 論	なし	
結 果	全員賛成で採択	